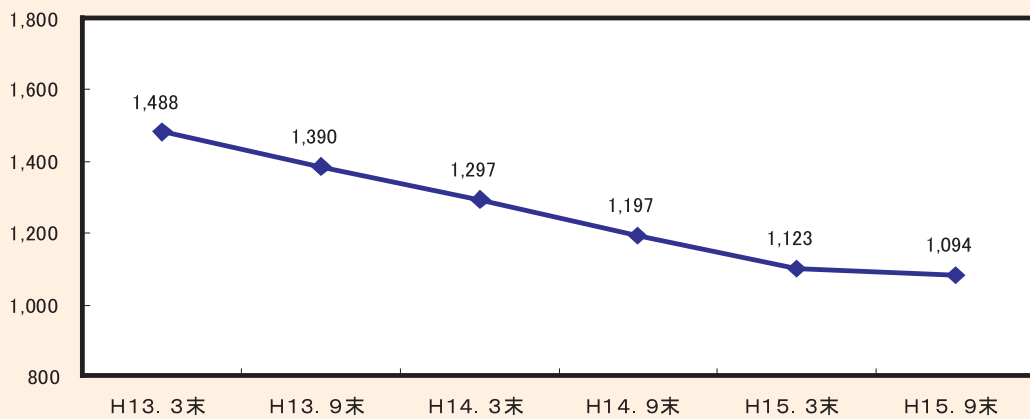


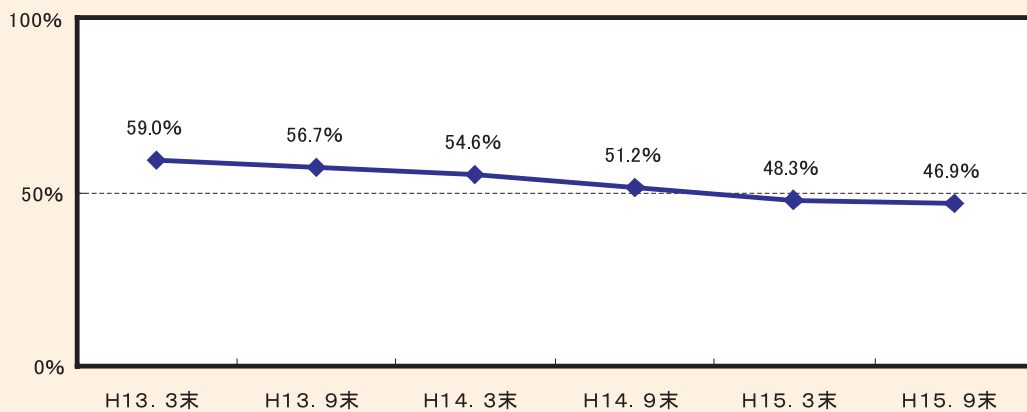
## 1-8 インターネット接続サービスの市場集中度(HHI)／上位3社のシェア合計

インターネット接続サービスのHHIは、1100を下回り、上位3社の契約数のシェア合計は50%を下回る。いずれも降下基調にある。

○ インターネット接続サービスの市場集中度(HHI)の推移



○ インターネット接続サービスの上位3社のシェア合計の推移



(※1) 平成15年度の電気通信事業分野における競争状況に関する調査(様式第1)に基づき作成。なお、本調査で収集できたデータを用いて市場集中度や上位3社シェアを計算しているが、これには契約数が1万件未満のISP分が含まれていないため、市場集中度や上位3社シェアが実態よりも高くなっている。

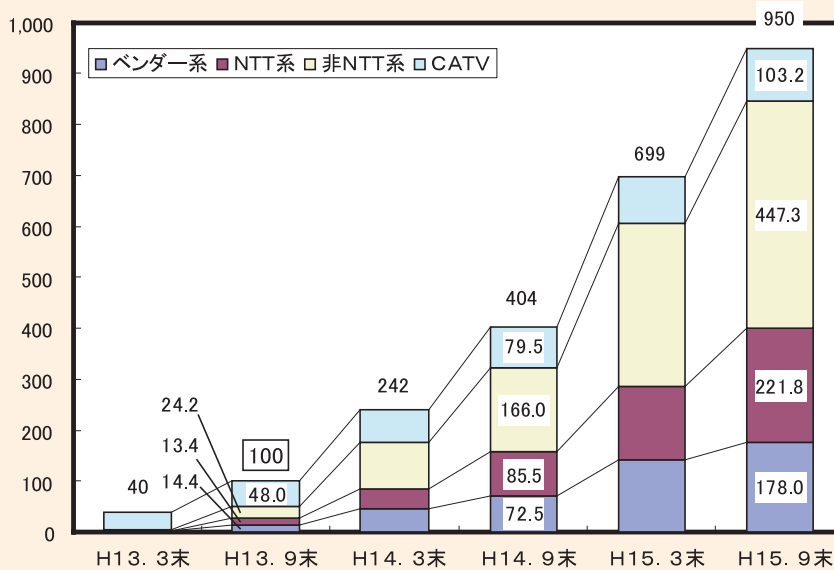
(※2) HHI (Herfindahl-Hirschman Index: ハーフィンダール・ハーシュマン指数)とは、当該市場における各事業者の有するシェアの二乗和として算出される指標。例えば、40%、20%、15%、15%、10%の市場シェアを有する5事業者によって構成される市場のHHIは、2,550 ( $=40^2+20^2+15^2+15^2+10^2$ )と計算される。HHIは、分裂した市場における0に近い値から完全な独占市場における10,000の範囲の値をとる。

### 1-9 ブロードバンド接続サービスの事業者タイプ別契約数の推移

ブロードバンド接続サービスは、CATVインターネットを提供するCATV事業者がまず先行。他の事業者が追い上げ追い抜く中、全体が拡大を続けている。

	平成13年9月末 (①)	平成15年9月末 (②)	増減 (②-①)
ブロードバンド接続サービスの契約数	100	950.3	850.3
CATV	48.0 (48.0%)	103.2 (10.9%)	55.2
非NTT系ISP	24.2 (24.2%)	447.3 (47.1%)	423.1
NTT系ISP	13.4 (13.4%)	221.8 (23.3%)	208.4
ベンダー系ISP	14.4 (14.4%)	178.0 (18.7%)	163.6

○ ブロードバンド接続サービスの事業者タイプ別契約数の推移



(※1) 平成15年度の電気通信事業分野における競争状況に関する調査(様式第1)に基づき作成。

(※2) ここでは次のように事業者タイプを区分しているが、あくまで便宜的なものである。

「CATV」…ジェイコムグループ、イッツ・コミュニケーションズ等(44社)

「非NTT系」…YahooBB!、DION、ODN、POINT等(29社)

「NTT系」…InfoSphere、OCN、QUOLIA、PLALA、WakWak(5社)

「ベンダー系」…@nifty、infoPepper、SpaceTown、So-net、hi-ho、Biglobe(6社) 計84社

(※3) ブロードバンド接続サービス：ISPが加入者回線にブロードバンド回線を用いて提供するインターネット接続サービス。

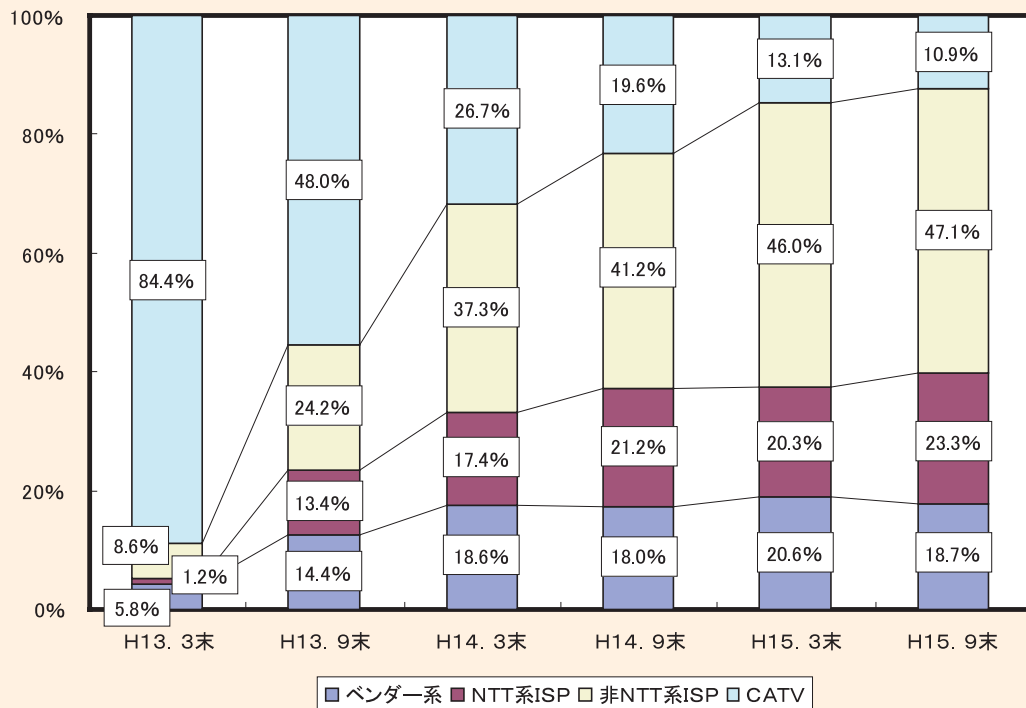
(※4) 数値は、平成13年9月末のインターネット接続サービスの総契約数を100として指数化したもの。

### 1-10 ブロードバンド接続サービスの事業者タイプ別契約数シェアの推移

ブロードバンド接続サービスでもYahoo!BBなどの非NTT系ISPの伸びが顕著で、そのシェアは50%近い。CATV事業者は2年前に50%を超えていたが、約11%まで減少。NTT系ISPはこの一年20%前後で安定している。

	平成13年9月末 (①)	平成15年9月末 (②)	増減 (②-①)
CATV	48.0%	10.9%	▲37.1ポイント
非NTT系ISP	24.2%	47.1%	22.9ポイント
NTT系ISP	13.4%	23.3%	9.9ポイント
ベンダー系ISP	14.4%	18.7%	4.3ポイント

○ ブロードバンド接続サービスの事業者タイプ別契約数シェアの推移



(※1) 平成15年度の電気通信事業分野における競争状況に関する調査(様式第1)に基づき作成。

(※2) ここでは次のように事業者タイプを区分しているが、あくまで便宜的なものである。

「CATV」…ジェイコムグループ、イッツ・コミュニケーションズ等(4社)

「非NTT系」…Yahoo!BB!、DION、ODN、POINT等(29社)

「NTT系」…InfoSphere、OCN、QUOLIA、PLALA、WakWak(5社)

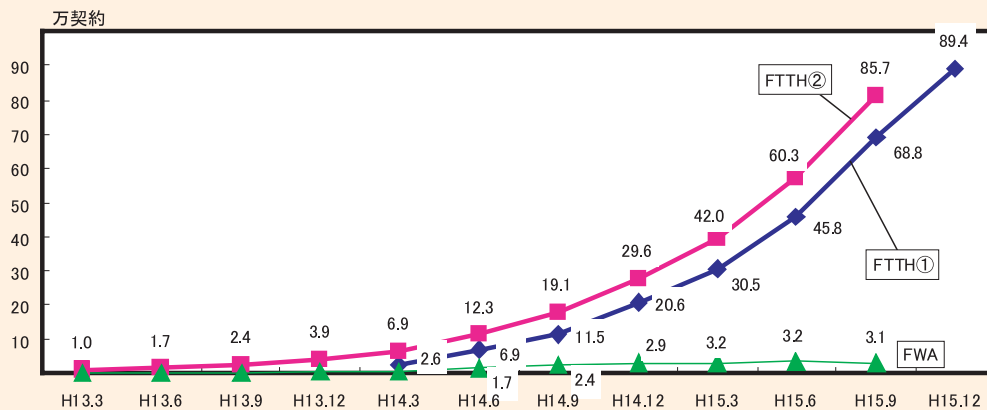
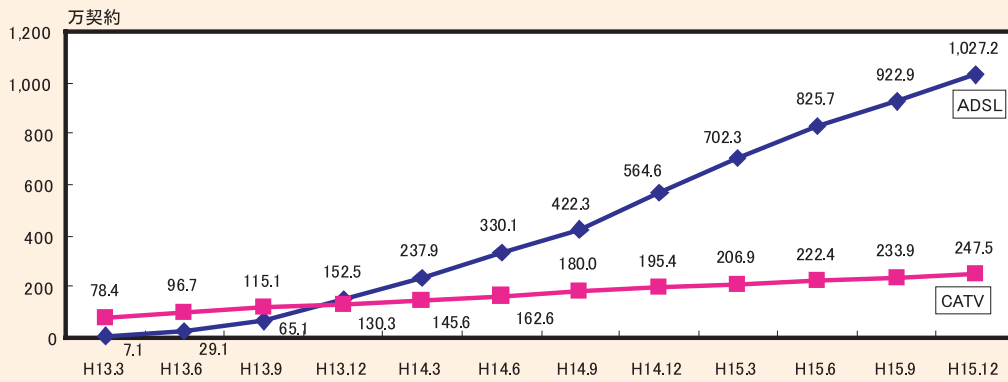
「ベンダー系」…@nifty、infoPepper、SpaceTown、So-net、hi-ho、Biglobe(6社) 計84社

### 1-11 ブロードバンド接続回線サービスの契約数の推移

ブロードバンド接続回線サービスの契約回線数は、近年急拡大し、既に1300万を超えている。ADSLは1000万を突破。FTTHも100万に接近中でここきて順調に拡大を始めている。

契約回線数の推移	平成14年12月末 (①)	平成15年12月末 (②)	増加数(増加率) (②-①)
ADSL	565万	1027万	462万(81.8%)
FTTH①	21万	89万	68万(323.8%)
CATVインターネット	195万	248万	53万(27.2%)
FTTH②(9月時点比較)	19万	86万	67万(348.1%)
FWA(9月時点比較)	2万	3万	1万(32.7%)

○ ブロードバンド接続回線サービスの契約回線数の推移



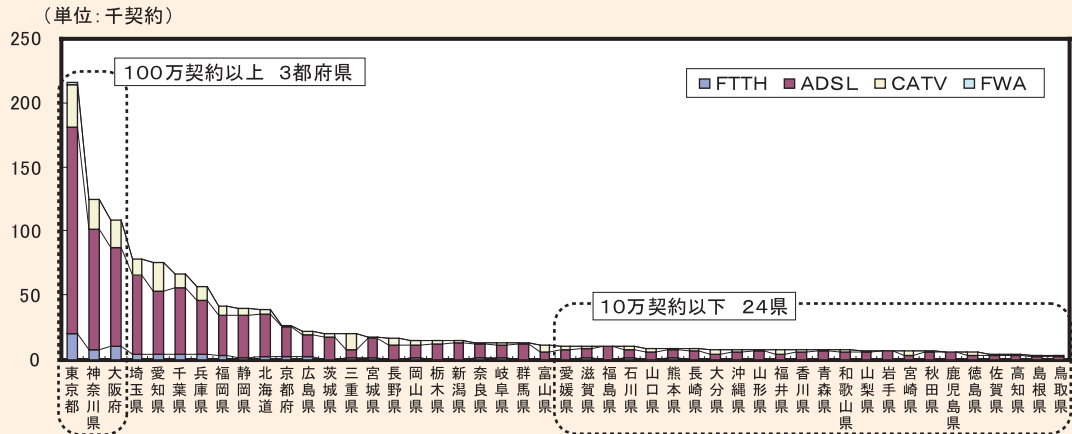
- (※1) ADSL、CATVインターネット、FTTH①の契約回線数は総務省資料「インターネット接続サービスの利用者数等の推移」に基づき作成。FTTH②、FWAの契約回線数は平成15年度の電気通信事業分野における競争状況に関する調査(様式第7、第8)に基づき作成。
- (※2) ブロードバンド接続回線サービス：回線提供事業者がブロードバンド回線を用いて提供するインターネット接続回線サービス
- (※3) FTTH②はFTTH①よりも、光ファイバケーブルを集合住宅に引き込み、棟内をVDSL装置等を用いて分岐することにより当該集合住宅内の各戸向けに提供するインターネット接続回線サービスの契約回線数分が多くなっている。

## 1-12 ブロードバンド接続回線サービスの都道府県別契約回線数

都道府県別のブロードバンド回線別の契約回線数は、東京都、神奈川県、大阪府で100万を超えている。三重県のようにCATVインターネットの契約回線数が50%を超える県もあり、ブロードバンド接続回線サービスのいずれが優勢かは一様でない。

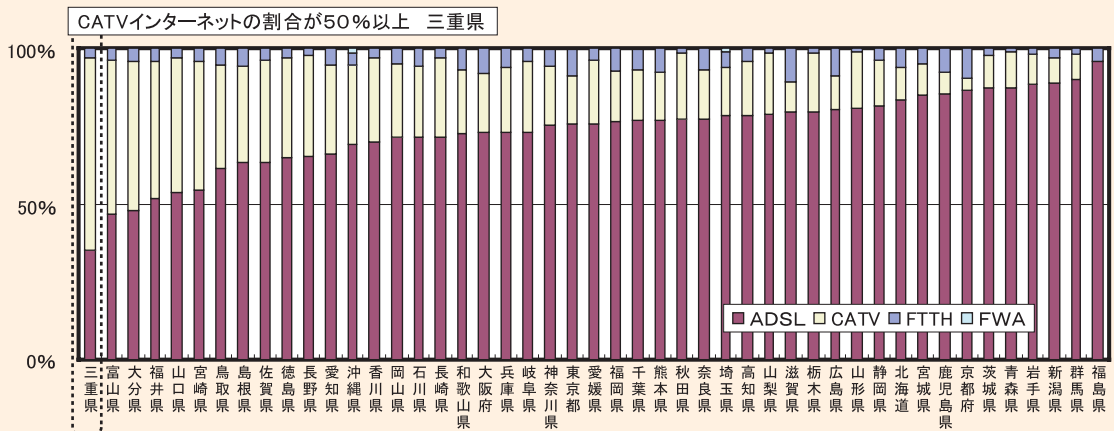
○ ブロードバンド接続回線サービス都道府県別の契約回線数

(平成15年9月末)



○ ブロードバンド接続回線サービス都道府県別契約回線数の回線種類別割合

(平成15年9月末)

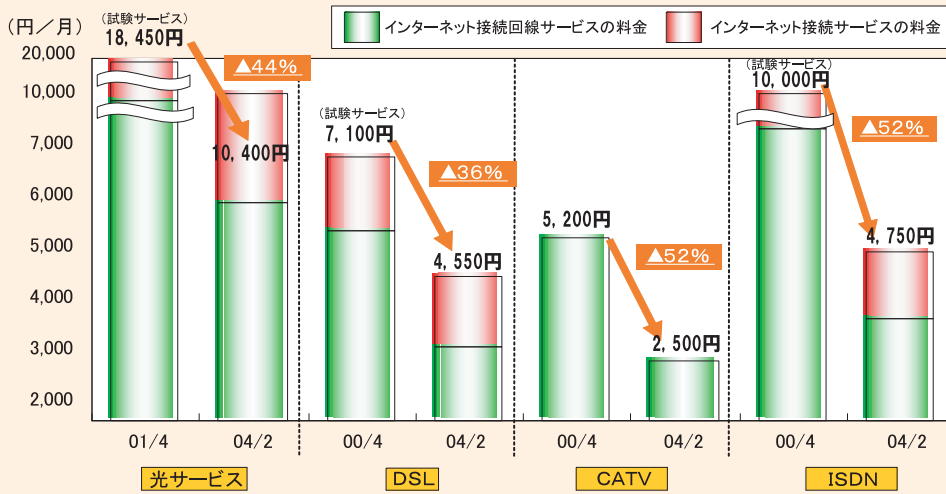


(※) ADSL、CATVインターネットの契約回線数は総務省資料「インターネット接続サービスの利用者数等の推移」に基づき作成。FTTH、FWAの契約回線数は平成15年度の電気通信事業分野における競争状況に関する調査(様式第7、第8)に基づき作成。

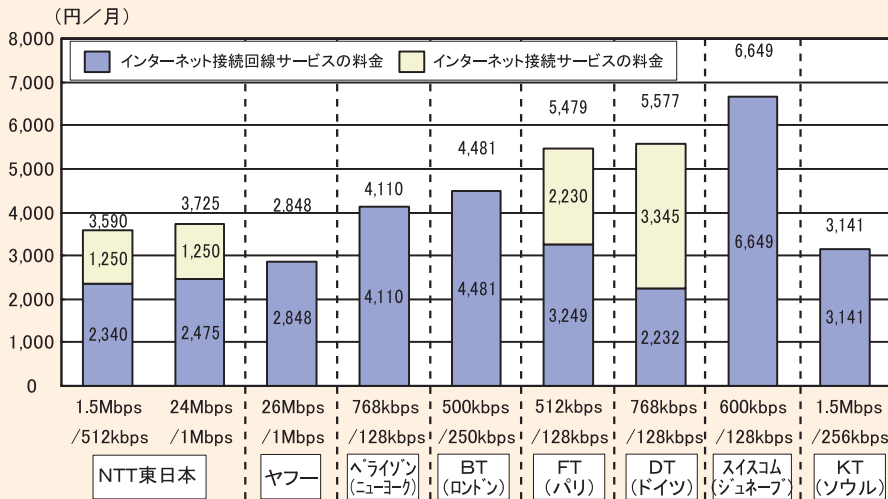
### 1-13 インターネット利用料金の低廉化

日本のインターネット接続サービス及びインターネット接続回線サービスの利用料金は、着実に低下。国際的にみても低水準。

#### ○ インターネット利用料金の推移



#### ○ 諸外国のブロードバンド利用料金との比較



(※1) 「インターネット利用料金の推移」は総務省の公表資料、「諸外国のブロードバンド利用料金との比較」は総務省の公表資料「平成14年度 電気通信サービスに係る内外価格差に関する調査」に基づき作成。

(※2) 料金は、平成15年9月時点のもの。

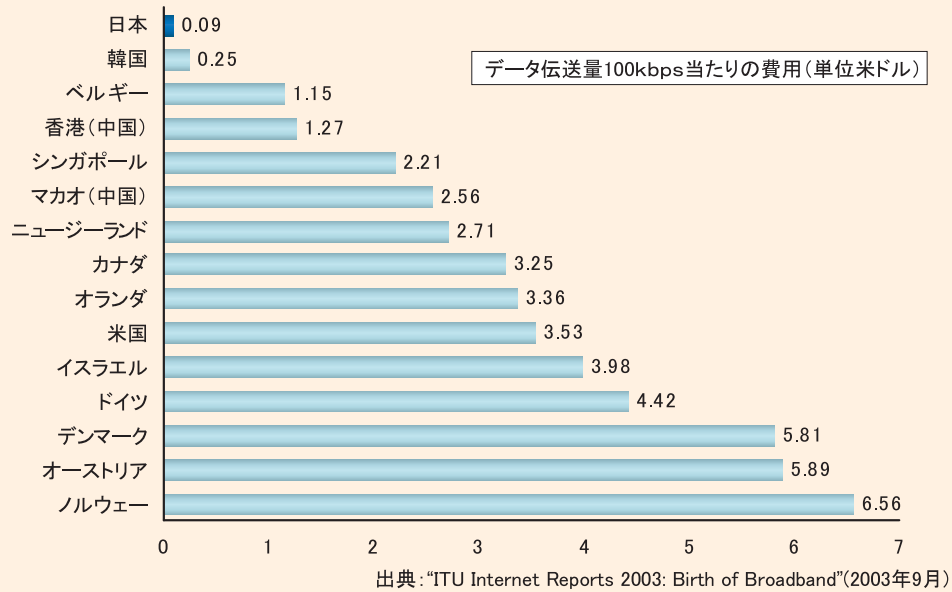
(※3) 各国の料金における為替レートは平成15年9月1日時点のもの（1米ドル＝117.60円、1英ポンド＝188.04円、1ユーロ＝129.55円、1スイスフラン＝84.17円、1ウォン＝0.0979円）

(※4) いずれの料金も税金を含んでいない。

### 1-14 ブロードバンド接続回線サービスの料金の国際比較(単位速度当たり)

日本のブロードバンド接続回線サービス料金を単位速度（ADSLの下り速度）当たりで国際比較すると最安値。

○ 通信速度当たりのブロードバンド接続回線サービスの料金



○ ブロードバンド接続回線サービスの通信速度

